

道の駅「石鳥谷」施設再編基本構想・基本計画検討委員会（第1回）会議録

日時 平成31年2月8日（月）15時35分～17時25分

場所 道の駅「石鳥谷」りんどう亭大食堂

出席者 委員出席者11名 吉野英岐（委員長・岩手県立大学総合政策学部 教授）、藤原美宏（株式会社石鳥谷観光物産代表取締役）、菊池邦雄（石鳥谷歴史民俗資料館館長）、中村弘樹（花巻商工会議所石鳥谷支部会長）、平塚正隆（一般社団法人花巻観光協会専務理事）、渡辺芳朗（一般社団法人南部杜氏協会事務長）、佐々木隆之（公益社団法人岩手県トラック協会専務理事）、伊藤純（公益社団法人岩手県バス協会専務理事）、岩館大輔（酒蔵まつり実行団体協議会会長）、藤根果奈子（花巻農業女子プロジェクトメンバー）、佐々木博樹（岩手河川国道事務所調査第二課長）、五日市亘（岩手河川国道事務所交通対策課長）

委員欠席者0名

市側等出席者4名 藤原忠雅（理事）、菅原善幸（石鳥谷総合支所長）、藤原良浩（石鳥谷総合支所地域振興課長）、阿部善典（石鳥谷総合支所地域振興課長補佐）、菊池剛史（石鳥谷総合支所地域振興課主査）松田聖実（石鳥谷総合支所地域振興課主査）、杉崎光義（一般財団法人日本みち研究所常任参与）、吉原功（一般財団法人日本みち研究所主任研究員）、高野仁（一般財団法人日本みち研究所研究員）

- 次第
- 1 開 会
 - 2 出席者紹介
 - 3 挨拶
 - 4 協議事項
 - (1) 委員長及び副委員長の互選について
 - (2) 道の駅「石鳥谷」の現状、課題、整備コンセプト等について
 - 5 その他
 - 6 閉 会

1 開会 (開会 16時30分)

藤原課長 施設見学、大変お疲れさまでした。それでは、ただ今から、道の駅石鳥谷施設再編基本構想・基本計画検討委員会の第1回会議を開会いたします。

本日は、委員の半数以上が出席されておりますので、実施要領第1条第2項の規定により、会議が成立していることをご報告いたします。また、本日の会議の会議録を作成いたしますけれども、この会議録につきましては、市のホームページで公開させていただきますことを、あらかじめ申しておきます。

2 出席者紹介

藤原課長 次第に従いまして、2番、出席者紹介でございます。出席者名簿をご覧ください。名簿順にご紹介いたしますので、その場でご起立をお願いいたします。

(藤原課長より、委員を紹介)

藤原課長 次に、本日出席している職員を紹介いたします。

(藤原課長より、職員等を紹介)

藤原課長 あと、車が会場のほうに向かっておりますけれども、花巻市の藤原理事がこの後に合流いたします。

3 あいさつ

藤原課長 では、菅原石鳥谷総合支所支所長からごあいさつを申し上げます。

菅原石鳥谷総合支所 本日は足元の悪いところ、ご出席いただきましてありがとうございます。皆さま方には、道の駅施設再編基本構想基本計画検討委員会委員をご承認いただきまして、また本日はご多用中のところ、この会議にご出席をいただきまして誠にありがとうございます。また、日頃、市政に対して格別のご理解、ご協力をいただいておりますことに感謝を申し上げます。

道の駅石鳥谷は、平成5年に岩手県第1号の道の駅として登録され、以来25年が経過してございます。その間、少子高齢化への移行や道路ネットワークの進展、あるいはインバウンドの増加など、道の駅を取り巻く環境は大きく変化しております。それに加えて、道の駅石鳥谷においては、来客者数が減少傾向にあること、あるいは、国道4号からの視認性が悪いとか、各施設の動線が悪いこと、それから、これから交通量の増加が予想される中での対応を検討する必要があることなど、さまざまな課題がございます。そのため、市ではこれまでもワークショップを開催して、市民あるいは関係する団体からご意見を伺ってまいりました。また、道路管理者であります国土交通省さんとも、幾度となくご相談申し上げ、意見交換をしてまいりましたところではありますが、施設の再編といたしますか、そういった方向に一定の方向性が見えてまいりましたことから、この道の

駅石鳥谷の魅力向上、あるいは利便性を高め、交流人口の拡大、あるいはにぎわいの創出をするために、道の駅再編の基本構想、基本計画を策定するとしたところでございます。検討会は、本日と今月 27 日の 2 回を予定してございます。1 回目の本日は、道の駅石鳥谷の現状、課題や問題点、整備コンセプト、改修方針等を検討したいと考えてございます。限られた時間ではございますけれども、皆さま方から多くのご意見、ご提言を賜りますようお願い申し上げます、開会にあたりましてのあいさつとさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願い申し上げます。

4 協議事項

(1) 委員長及び副委員長の互選について

藤原課長 次に、協議事項に入っております。協議事項の 1 番目、委員長および副委員長の互選についてでございます。委員長が決まるまでの間、菅原支所長が仮議長を務めます。

菅原石鳥谷総合支所 それでは、委員長が決まるまで、仮議長として議事を進めさせていただきたいと思
支所長 います。皆さまのほうに「道の駅『石鳥谷』施設再編基本構想基本計画検討委員会設置要領」をお配りしてございますけれども、その第 5 条第 1 項に、委員会に委員長および副委員長を各 1 人置く。第 2 項に、委員長および副委員長は委員の互選により定めると規定されております。選出方法につきまして、委員の皆さまにお諮りをしたいと思います。どなたかご意見ございませんでしょうか。

菊池石鳥谷歴史民俗 吉野先生がいいと思います。
資料館長

菅原石鳥谷総合支所 ただ今、吉野先生をを委員長にというご意見がございましたが、他にございませ
支所長 しょうか。

中村花巻商工会議所 委員長は先生にお願いして、後の副委員長は、事務方であればそちらで指名してい
石鳥谷支部会長 だいて。お願いします。

菅原石鳥谷総合支所 委員長については吉野委員ということでございますけれども、副委員長については事
支所長 務局案があればということですが、事務局案ということでもよろしいでしょうか。
(異議なし、という声あり)

菅原石鳥谷総合支所 それでは、事務局案ということでございましたので、事務局のほうから案があればお
支所長 願いしたいと思います。

藤原課長 副委員長につきましては、石鳥谷観光物産の藤原委員にお願いしたいと思います。

菅原石鳥谷総合支所 支所長 それでは、委員長には吉野委員、そして副委員長には藤原委員にお願いしたいということでございますが、委員の皆さまのご異議ございませんでしょうか。
(異議なし、という声あり)

菅原石鳥谷総合支所 支所長 異議ないものと認め、委員長に吉野委員、副委員長に藤原委員をご決定いただきました。それでは、吉野委員長からごあいさつを賜りたいと思います。お願いいたします。

吉野委員長 ご推薦いただきまして、今、皆様のご理解いただきまして委員長ということになりました吉野でございます。住まいは盛岡市で、県立大学に勤めておりますけども、たまたまというか、いろんな機会でご花巻市の道の駅に関わる仕事を幾つかさせていただきまして、本日もこういった委員の中に入れてさせていただいております。ここでは、私がか意見を言うというよりは、皆様のご意見を引き出す交通整理の役をしたいと思っておりますので、ご協力よろしくお願ひ申し上げます。

藤原課長 続きまして、副委員長に選出いただきました藤原様、お願いいたします。

藤原副委員長 副委員長に選出されました藤原でございます。どうぞよろしくお願ひいたします。日頃、私が社長という形の中で運営している、この道の駅石鳥谷の施設の再編についてご論議いただくことを大変うれしく思っております。前職は市役所の職員でございまして、商売人ではございませんけれども、石鳥谷の一つの目玉であるこの道の駅、これを皆様がたの貴重なご意見を賜りながら、いいものにしていきたいなというふうに思っております。どうかよろしくお願ひいたします。

藤原課長 ありがとうございます。検討委員会設置要領第6条第1項に、委員長が会議の議長となると規定されております。ここで吉野委員長に議長交代しますので、議長席のほうにおいでをお願いいたします。

藤原課長 ただ今、藤原理事が到着しましたのでご紹介いたします。
(藤原課長より紹介)

(2) 道の駅「石鳥谷」の現状、課題、整備コンセプト等について

吉野委員長 それでは、ちょうど理事もおみえになって、本日の出席予定者は全てそろったということですので、議事次第がお手元に届いているかと思ひます。さらにその他の資料がございまして、もし資料がお手元になれば、事務局のほうから多分ご用意いただけると思ひますが、よろしいですか。お持ちのようですね。

それでは、協議事項の2番ということで、道の駅石鳥谷の現状、課題、そして整備コンセプト等について、資料に基づいて事務局のほうよりご説明をお願いしたいと思ひます。よろしいですか。

菊池主査 (道の駅「石鳥谷」の現状、課題、整備コンセプト等について、資料に基づき説明)

吉野委員長 ご説明ありがとうございました。大きな資料を使って詳細に説明いただきました。あと45分間ぐらいしかありませんけれども、せっかくご出席いただいておりますので、できるだけ多くの出席者の皆さんからご意見とかご提案があればいただきたいと思います。順不同で結構ですけれど、もしご質問を含めてあれば、お手を挙げていただければ、こちらからご指名いたしますが、いかがでしょうか。

吉野委員長 中村委員。

中村委員 すみません。中村です。ハード面の新しい構想というんですか。いろいろ白壁を取ったりとか、5ページなんですけども、この写真を使って、どこがどうなるということを具体的に、今、話せますか。

吉野委員長 事務局、お願いします。

菅原石鳥谷総合支所 5ページの資料をご覧いただきまして、ご説明をさせていただきたいと思います。

支所長 大体の今の、まだ検討途中のところではございますけれどもイメージでございます。この中の、この黄色い線で囲んだ部分が現在の道の駅の範囲ということでございまして、このとおり、国道のほうが国の駐車場、そして奥の、この図面で見ると下のほうが市の駐車場ということでございまして、まず、駐車場が狭いとか、あるいは視認性が悪いとか、あるいは入りにくいという所があるということで、この範囲の北側、右側になりますけれども、ここが林になってございます。この部分を少し広げまして駐車場を広げます。そしたら視認性も改善されますし、駐車スペースも確保できますし、さらに国道からの進入路も確保できるということで、そういう方向でいきたいと、まず大きく考えているというところであります。

そして、先ほど出ました白壁の話がございましたが、ここは取っ払いまして、道路側に国の管理する駐車場ということで想定しておりますけれども、全部が想定上ではないんですが、大型のトラックの駐車スペースがあると。今ある南部杜氏伝承館がございまして、こちらの建物は曳家というお話をしましたけれども、この場所から北にするか、南にするかは、まだちょっと決めかねているんですけども、移すという形を考えています。その場所に、今の駐車場を利用した方が利用しやすい場所と考えて、トイレを移設してきてはどうかというふうに考えているところです。

あとそれから、りんどう亭でございますけれども、この道路側にはせせらぎ散策路がありますし、さらに北側には民有地の林があるということですが、先ほど言いましたように駐車場を広げるということによりまして、国道からりんどう亭の西側の部分が開けるということになりますので、こちらのほうに入口を造った形で考えていきたいというところが、非常に大ざっぱなお話でございますけど、今、検討しているところでござ

ざいまして、その辺の部分につきましては、具体的には次回の検討委員会でお示しをすることになるのかなというふうに思っているところでございます。

吉野委員長 ありがとうございました。中村委員、了解されましたか。

中村委員 はい。

吉野委員長 ありがとうございます。その他、ご質問。

岩館委員 岩館です。民有地、せせらぎ散策路の所ですか。せせらぎ散策路ではないですね。

菅原石鳥谷総合支所 今、説明した部分が民有地でございますので、協力をいただいでのことにはなります
支所長 けれども、買って広げたいということで検討しているところでございます。

岩館委員 それを聞いてもうちょっと質問ですが。そうすると大食堂も、入り口が西側にできたりとか、いろんな所からいろんな出入り口ができて、いろいろ入りやすくなるということなんですかね、それは。

菅原石鳥谷総合支所 基本的には、国道側のほうに入り口を造って、そちらのほうに正面性を持たせるという
支所長 ことを考えております。当然、今は南側に向いているわけですけども、そちらの出入り口も使うことにはなりますが、一方で、全体的な配置の中でも検討していくことにはなると思いますが、西側に正面性を持たせるということ、今、考えているというところでございます。

岩館委員 分かりました。ありがとうございます。

吉野委員長 よろしいですか。その他ご質問。佐々木委員お願いします。

佐々木委員 トラック協会の佐々木ですが、私のほうからは中身に踏み込んで。できれば10トンのトラックは12メートルです。これはこれでいいんですが、今、海上コンテナを運ぶとか、トレーラー化してる部分が多いもんですから。そうすると最低でも、細かいですが16.5、できれば18メートルぐらい欲しいスペースが何か所か欲しいかなというものがありますので、ぜひ可能であれば、そういったトレーラーが止まれる場所も、ひとつお願いできないかなというふうに思っておりました。

あと、以前、私がお話しした部分が含まれているつもりだったんですが、実は出口のほうで、発電機がある所をあそこを出て右に曲がるじゃないですか。あれって結構きついんです。バスもそうですけど。だから割と、入るほうはこういうふうに入れますけど、出るほうのときをぜひイメージしていただきたいなというのと、さっき説明の中にあ

ったように、この図面でもあるように、北側と南側に一般の車両を止めるという形で輻輳する部分があるかと思しますので、この辺もできればどっちかに寄せていただくことも含めて考えていただければいいのかなと思しますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

あと、防災の関係でちょっと。かまどベンチですけど、私の山形の協会にも、自分たちの防災設備というので設置しているもので、構内にこのベンチを10基ぐらい作っておいたんですよ。最初、なぜベンチを入れるのかという話になったので、いや、これはちゃんとかまどベンチですと。私、見てきましたけど、あれはあれで有効活用だと思うので、さっき言ったように、このかまどベンチ、休む所と、何しろイベントのときに火も使えるということもありますので、これは岩手県ではあまりないんだと思ひますけど、ぜひできればいっぱい作ってもらって、防災だけのことじゃなくて、いろんなイベントにも使えるということも含めて検討していただければ、なおいいのかなというふうに思ひます。そこに人が集まるというふうな、集めるという部分の一つになるのかなというふうに考えて、これを見させていただけておりましたので、休憩する場所とこのベンチのバランスをぜひ考えていけばいいんじゃないかなというふうに思ひます。以上です。

吉野委員長 ありがとうございます。ベンチっていうのは屋外に置くんですね。

佐々木委員 はい。

吉野委員長 18メートルっていうのは、最近では実際に造っている所があるんですか。

佐々木委員 18メートルというと、重機を積んでるトレーラーが多いので。海上コンテナそのものが12メートルあるんですよ。それを引っ張らなきゃならないので18メートル、全長がですね。だから、今のスペースだと、10トン車の12メートルはスパンと置けるんですけど、トレーラーが入ってくると邪魔になるということになるので、トレーラーも止まれるスペースが1、2台あれば。

吉野委員長 1、2台。全部とは言わないけど。

佐々木委員 それは無理でしょうけど、トラックも1台か2台、止めていただければいいかなと。

吉野委員長 そういうことですね。幅も違うんですか。

佐々木委員 幅は一緒です。長さだけ違う。

吉野委員長 長さだけ。そういうご要望もあります。いかがですか。

菅原石鳥谷総合支所 今、お話がございました大型トレーラーの駐車スペースについても配置をしたいと
支所長 いうように考えてございます。また、南側の出口、南側から来れば入り口ということになりますけども、そちらのほうの改善も考えてございます。それから、大型車と普通車の駐車場所をなるべく分離して、交錯しないような形の配置を考えているところでございますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。あと、防災対応のかまどベンチについても、ぜひ設置できるように検討を進めてまいりたいというふうに思っております。

吉野委員長 ありがとうございます。その他、ご質問、ご意見、いかがでしょうか。平塚委員。

平塚委員 平塚と申します。先ほど、観光対策、特にインバウンドというお話がございました。それで、今、確か、りんどう亭の前の大型車は、バスの駐車スペースというのがありますか。

菅原石鳥谷総合支所
支所長 酒匠館の前ですね。

平塚委員 酒匠館の前。これをやはり、できるだけそういう酒匠館だったり、りんどう亭の前、近い所に置いていただける工夫もあれば、いいのかなというふうに思ひます。
それから、ソフトの部分で言えば、先ほど、ふれあい情報館の中でWi-Fiが使用可能だというようなお話をいただきましたけども、実際、アドレスを登録しなきゃいけないとか、面倒な手続きが必要でございまして、あの辺はこれからのことを考えていただければフリーWi-Fiにしたらと。それから、特に定期便化になりましてから、レンタカーを利用する外国のお客さまが非常に増えております。そうするとやはり多言語化、それから一般の駐車場においても止めやすいというような配慮が必要なのかなと。それからあと一つ。最近ニュースで、高齢者のアクセルの踏み間違い等々がございまして。こういったやはり、歩行者と車が交差する所だと大きな事故につながりかねません。車止めの対応はどうなのか。それから、別な道の駅の委員会では、車の幅はいわゆる国の基準に則ってますというようなお話がございましたけれども、特にこの石鳥谷道の駅を利用される方、他よりは若い方はいないんじゃないのかなということを考えれば、昨今、駐車場でもう少し広めの駐車場、止めやすい駐車場の利用がスーパー等では好まれるというような状況もあろうかと思ひますので、その辺は配慮いただければいいのかなと思ひます。

吉野委員長 ありがとうございます。現時点でお答えできる範囲で結構ですが。

菊池主査 Wi-Fi についてですが、情報館にWi-Fiがございましてのは国のほうで整備をされてございまして、見学のときに説明が落ちておりましたけれども、酒匠館と伝承館にもWi-Fiが入っていて、花巻市の場合は公共施設や観光施設がNTTのフレッツポータルで全部

統一をしております。一回登録すると自動的につながります。ちなみに私、登録してるので、今、Wi-Fi つながってる状態になっておりますので。ただ、それを知らない人もいっぱいいますので、ご指摘のとおり一回やらないと駄目なんですよね。なので、そういったこともきちんと検討して対応してまいりたいというふうに思っております。

吉野委員長 ありがとうございました。他にありますか。

菅原石鳥谷総合支所 バスの駐車スペースにつきましては、やはりそういった形で、集客施設に近い場所に入られるという所もあるようでございます。既存の施設を建て替えないで再編するという事で、駐車スペースの場所の確保とか、いろいろパターンを考えているんですけど、なかなか思うようにいかない場合もありますけども、今おっしゃったことは、その中で検討してまいりたいなというふうに思っております。

それから、高齢者に対応した車止め等につきましては、検討して行わせていただきたいと思えます。駐車場は、基本的に基準に基づいてやるということになりますけども、確かにそういった車幅が余裕があればいいということもあろうかと思えますので、その点については、まずはご意見として承りたいというふうに思っております。

吉野委員長 ありがとうございました。他にいかがでしょうか。では、お願いします。

渡辺委員 渡辺と申します。同じく 5 ページなんですけど、5 ページの下のほうに青い枠で囲まれた所の右上の所に、白壁の塀で施設が見えにくい。これは北側の 4 号線から施設に入ろうとする所なんですよね。それで、ここは基本的には 4 号線のほうからだけ入れるようになってるんですけど、たまに逆行してくるんですよ。それで、基本的には、この入り口を、この信号からだけで一本化するのはどうだろうというふうに思います。そうすると、この道路の面も、この施設の白壁の塀で施設が見えにくい。これ撤去すれば駐車場とか、それから大型バスとか、何か止められるスペースも可能になるんじゃないかと。ただ、これは国の施設ですから、その辺が可能かどうか分からないですけど、それをやることによって結構なスペースが確保できるし、安全になると思えます。

それと、ここの左側に、せせらぎでしたっけか、入れる散策路なんかもありますので、そこの辺にうまくスペースを使っていればいいのかと思います。

それと、どっちから見ればいいのか。大きい面の上のほうに 4 号線と書いてますよね。ここの所にも、やっぱり植栽とか何かあるんですけど、あれを撤去すれば 1 車線分確保できるんだよね。そうすると、北からの進入路を造れるんじゃないのかなというように、ちょっと感じましたんで、一応。

それから、一つだけ教えてください。3 ページのここの所に外国人が 1,335 人ということが増えてると。それに対する売り上げの効果っていうのは多いのか、少ないのか。分かるのであれば教えてください。だからどうなのかというのは関係ないかもしれませんが、お願いします。以上です。

吉野委員長 事務局、お願いします。

菊池主査 私のほうから売り上げについてですけれども、ちょっと感覚的な話になってしまうかもしれませんが、酒匠館の店長、駅長の話によると、非常にありがたいということで聞いております。例えば、今が一番お客さんが、実は来ない状態でございます。2月にはお客さんが来ないんですよ、冬だと来ないと。昨年なんかはオリンピックでなおさら来なかったんです。すごく人が出ないときでしたけれども、その中において、やっぱり空間が浮いてて人件費だけかかってしまうような状態になってしまうので、そういった中でやっぱり台湾ツアーの今、平均単価が大体1人800円くらいだというふうに聞いてます。これが30人とか40人来ると、1回でそこそこの売り上げがあるので、何人もやっぱりお客さんが全く来ないというよりは、来てもらって良かったなというようなことを聞きました。以上で終わります。

藤原副委員長 追加して。外国人の方は台湾の方々がいらっしゃるんですけど、滞在時間がすごく短いんです、旅行会社の関係で。それで、買い求めるものも、やはりスナックとか、そういう単価的には高くない。ただ、この閑散期に一般の方々が来ていただいて、買い求めていただくのは大変ありがたい。ですが、高くても2000円までいけばいいほうなんです。免税店の取り扱いをしてますけれども、日本の免税の取り扱いをするのは大変面倒なんですね。時間が短時間のときに免税の取扱いは難しいことがあります。大きな金額、つまりここでお酒を買って空港でお渡しするとかいうような考え方はあると思いますけれども、まだそこまでは追い付いてないというところがございます。

せっかくマイクいただきましたので、ちょっとコンセプトの考え方についてちょっと私の希望があります。今回、先ほどの質問の回答を聞いておりますと、民有地も買って少し敷地を大きくしたいと。あと、各施設ももう少し配置を換えていきたいというふうにお答えになってるように聞かせていただきました。せっかくそういうふうにお金をかけていただくのは大変ありがたいです。ただ、私の一つの希望として、この道の駅石鳥谷なんですけれども、常々思っていることは、高速道路のサービスエリア、ああいう形に近いものになればいいなと。高速道路のサービスエリアは、やはりドライバーが休む場所、道の駅の考え方と近いと思っているんですけども、東名高速道路であれば逆に今、サービスエリアに行かなければ買えないお土産、買えない食べ物、それを求めてわざわざ行くわけです。ですから、そういうファストフードでも、フードコートでも、お菓子でもいいんですけど、そういうふうな人が集まる、これは経営的な話になるんですが、そういうふうな形のものをつくり上げられるような部分もできればいいのかなと。そうすれば、おのずと、あそこに行けばあれが買える、そういう部分のサービスエリアに似せた形のものはどうなんだろうかなと思ってます。希望です。以上です。

吉野委員長 引き続き、菊池委員。

菊池委員 5 ページなんです、5 ページの『南部杜氏の里の認知度の低下』というあれですが、あそこの伝承館を見れば、石鳥谷の特に酒造りですね。それについてはほとんど書いてないんで、南部杜氏についてのこと、抽象的なことで書いてるんです。今はご存じのとおり 1 軒しか酒屋がないんですが、昭和 18 年までは 5 軒の造り酒屋があったんですね。そして、その辺りまでは岩手県に 100 軒ぐらいの造り酒屋がありまして、醸造石数ではベスト 10、上位 10 傑に三つの酒屋が入っていたことがあるんです。そういったのもやっぱりもう少し、石鳥谷の酒屋がここにあったというようなことも入れたほうがいいんじゃないかと思います。

それから、南部杜氏の発祥については江戸時代だと思うんですが、本格的な南部杜氏としての出稼ぎというのは明治 40 年頃からなんです、集団では。石鳥谷町好地、それから紫波町の志和を中心として集団で出稼ぎに行くのは明治 40 年頃なんですね。ですから、そういった南部杜氏のこと、それから石鳥谷の酒屋のことも少し強調して知らせるようにしたほうがいいのではないかと思います。

吉野委員長 ご提案でした。ありがとうございます。さっきの道路の確認なんです、今は、国道 4 号の盛岡から入ってくる場合は、この白壁の所に右から入ってきて、奥に行きたい場合は白壁の前を通過してずっと下がってくるとよろしいんですか。それで、前の所、大型止めてるときは、白壁のほうに行かないでスッと国道の横に入る感じになるんですか。

菅原石鳥谷総合支所 支所長 現状としては、おっしゃったとおり、国道から入って、白壁の所を真っすぐ行けば、市のいわゆる地域振興施設になりますし、右に入ると大型のトラックが駐車できる。大型だけではないですが、駐車できるスペースというふうになっております。今、考えているのは、まず、高速道路のサービスエリアのイメージなんですけども、高速道路ですと 1 カ所ぐらいですけども、国道ですのでそうなるわけですが、盛岡方面から入ってきた場合は、国道からサービスエリアに入るような形で、この道の駅に入っていくという形を考えてます。そして、この現在ある白壁は撤去いたしまして、施設前面が駐車場ということになって、少し不自由になったような気がしますが、国道から入ってきて北側の部分につきましては、そちら側に市の振興施設がありますので、そちらに近い場所には小型車が入り、少し奥といいますか南側が大型車という形になるということを想定してございます。そういう形でおりますので、北から来る場合は北側の入り口ですし、南側から入る場合は……。すみません。この地図といいますか、写真でオレンジ色で示した建物がございまして、この辺りから、国道から道の駅に進入するようなイメージで考えております。そして、ある程度このりんどう亭とかの辺りに結ぶような形になるかは、ちょっとまだ今、調整中ではございますけども、そういったイメージで造ります。

吉野委員長 4 号沿いの所に駐車場が拡幅される可能性があるわけですね。

菅原石鳥谷総合支所 支所長　　そういう形ですので、北から進入してきて、大型車は道路沿いに行くといひますか、向こうに入りますし、小型車は若干、中といひますか、施設側のほうに入ってきて駐車をするといいイメージになりますので、動きやすい動線を示して、逆走等もしないよう考慮しながら整備していきたいというふうに考えています。

吉野委員長　　現在、花巻方面、図面左側、南側から4号で上がってくる場合は、この四つ角で右折するんですか、現在は。

菅原石鳥谷総合支所 支所長　　そうですね。ここの交差点から右折です。

吉野委員長　　そこを左に入ってくる。今、つまり4号から直には入れないことになるんですね、現状は。

菅原石鳥谷総合支所 支所長　　そうですね。南から北進して来る場合は、そういう状況になります。

吉野委員長　　今は現行、大きな入り口は2カ所あるという感じですね。下にもあるけど。

菅原石鳥谷総合支所 支所長　　再編後も、入り口は2カ所ということには変わりはありませんけども、そういう形になってございます。

吉野委員長　　それから、その白壁の横は、現在もこれは一方通行なんですか。白壁の横から奥に入ってくるのは。

菅原石鳥谷総合支所 支所長　　現在は、ここは北からしか入れないというふうにしてまして、入口専用ということでございます。

吉野委員長　　そうすると、4号に、直に出ることは難しいわけですね、これ。出られないんですね、一方通行だから。

菅原石鳥谷総合支所 支所長　　はい。現状では。

吉野委員長　　左から出る。

菅原石鳥谷総合支所

支所長 南から出て、この交差点。

吉野委員長 いったん交差点、四つ角に出て。

菅原石鳥谷総合支所

支所長 それで北に行く場合は右折ですし、南に行く場合は左折ということで。

吉野委員長 ここから現状では、逆走車がないわけじゃないけど。

渡辺委員 実際にありました。私も北から来ます。北から入るんですよ。

吉野委員長 盛岡方面から。

渡辺委員 盛岡方面から来て、入ったら、逆走した車と危なくぶつかりそうになりました。

吉野委員長 それは、今すぐにでもやめてほしいわけですね。

渡辺委員 たまにあります。トラックなんか出てきます。

吉野委員長 つまり、よろしくないってことです。

菅原石鳥谷総合支所

支所長 確かに現状、ある意味で言えば、分かりにくいというところもある。表示はしておりますけども。新しく再編した中では、そこの表示も分かりやすくして、逆走をしにくくしたい。

吉野委員長 しない。させない。

菅原石鳥谷総合支所

支所長 させないような配置というか、コースというか、にも心掛けていきたいというふうに思っております。

吉野委員長 そういった安全性の確保の面からも、駐車場の整備、進入路の整備も必要であるというふうなことで考えてほしいですかね。本来なら、今でも逆走しないはずなんだけれども、なかなかこっちの意図が伝わらないで逆走されてしまうこともないわけじゃないと。白壁そのものを取る可能性が高いということなんですけど、これは、もともとは、何か理由があって置いたんですよ。

藤原委員 この白壁は、先ほど菊池さんが現地でお話ししてたように、ここに昔、スーパーマー

ケットがあったんです。それを隠すのが一つと、あと、南部杜氏の施設の入口だよという景観を醸し出すための仕掛けだったんです。過去にはこの白壁の所に門がありました。壊れてしまった木製の門がありまして、それはもう壊れてしまって撤去してますけども。ですから、今の酒匠館とか伝承館造った当初は、ここは一方通行ではなかった。まだ道の駅ができてないとき。こちらのほうの交差点もまだできてなかったので、造った当時は対面通行という形でございました。そういう背景がございます。

吉野委員長　　今、国のほうで整備していただいた駐車場ならびにトイレ、情報館は、もともとは別の会社が使っていた。そこと分離するために白壁をあえて実施したということで。今は全部一体化したためにかえって邪魔になってしまったということと、門も付いていたんだけど、その門は既に使われていないということと、以前は対面交通でやれたんだけど、今は基本は一方通行にしているという。けど、それがなかなか分かっただけでない方は、逆に出てしまう、下から出ちゃうということもあるということですか。そうすると、役割自体は終えていることでいい。

藤原委員　　そうですね。

吉野委員長　　分かりました。ありがとうございました。
それから、石鳥谷の歴史を、やはりもうちょっときちんとお伝えするというようなご発言もありましたけども、この辺りは何かプランはあるのでしょうか。

菊池委員　　南部杜氏の里と言っても、里は石鳥谷ばかりじゃないわけです。紫波町だってそうだし、東和町だってそうだし、大迫だってそうなんですね。そこら辺もう少し石鳥谷の酒造りっていうか、この酒屋の歴史とか、南部杜氏の石鳥谷とどういう関わりがあるのかとか、そういったのを知らせる必要があるんじゃないかと思います。特に、さっきちょっと言いましたけど、本当に戦前までは岩手県の酒造業界を石鳥谷の酒屋がリードした時代があったんです。岩手県酒造組合長とか、いろいろ本当に石鳥谷がリードした時代がありまして、そして南部杜氏協会、これも石鳥谷にできてますし、あとは松尾神社の石碑ですね。石鳥谷の熊野神社に行けば分かるんですが、あれなんかにはずっと、そういった杜氏の歴代のいろいろな系統というか、その流派なんかも書いてます。それは花巻市の指定文化財になってますけども。南部杜氏、確かに南部杜氏協会、南部杜氏伝承館ということなんですが、もう少しそれと併せて石鳥谷の酒造りと。過去なんですけども、こういった時代があったということも、もう少し石鳥谷の酒造りを一般の方にも知らせるといいうんですかね。確かに石鳥谷は酒造が盛んだったんだなと。そういったことも分かるんじゃないかと思うんですけどね。そういったことも必要ではないかと思えます。

吉野委員長　　ありがとうございました。最初のご説明の、『ここだけ』でしたっけ。

吉原主任研究員 『今だけ、ここだけ、あなただけ』という。

吉野委員長 という意味で、せっかくここに来たなら、ここだけの情報があってもいいのかなという話ですね。南部杜氏協会さんは、ずっとここに事務所を構えてらしたわけですか、そうしますと。盛岡じゃなくて。

渡辺委員 元は石鳥谷の町の中にあったということです。

吉野委員長 それでもやっぱり石鳥谷にあったんですね。

渡辺委員 そうです。

吉野委員長 今でもやっぱり花巻市石鳥谷に、そのままずっと。

渡辺委員 ここにある。元は酒屋にあったんですよ。

吉野委員長 南部杜氏の方は実はたくさんいらっしゃるわけですね、会員さんっていうの。それでもやっぱり石鳥谷に置いとくというのは、一つの歴史が。

渡辺委員 石鳥谷の先代の町長さんが、ここにもありましたけども、石鳥谷の杜氏の里構想というのがあったんですよ。そのときに、こちらに一番最初に、松林の所の土地を開いて、そこに造ったと。

吉野委員長 引っ越してきたと。

渡辺委員 その後、いろいろと建物ができたりした。

吉野委員長 1番バッターで来たのが南部杜氏協会。

渡辺委員 というように聞いています。私も途中から入ったんですけども。

吉野委員長 そうなんだ。一番古い施設。

菊池委員 歴史民俗資料館が一番最初にできたんですけど、その後、この辺一帯を町の一つの資料にしようということで。石鳥谷町は観光地が何もない町だったので、ここに何かを造ろうということで、まず最初にそういう酒の関連の施設を造ろうということで。南部杜氏協会さんは駅前の方に事務所があったんですけど、老朽化して移転ということで、最

初に南部杜氏会館をこちらに造っていただくということで、林を切り開いた所に、まず何年間はポツンと。それから、歴史民俗資料館の他に、今の酒匠館とか、伝承館とか、そして図書館とか。そういうことで造ったんですけど、どうしても造った年代が違うから玄関も違うわけですね。向きが違うわけですね。だからみんな中を向いてるという感じになってます。

吉野委員長 分かりました。私なんか素人だから、道の駅南部杜氏でもいいんじゃないかと思ったけど、そういうふうな名前にはしなかったということなんですね。

菊池委員 そうですね。石鳥谷は南部杜氏の里。紫波町は南部杜氏のふるさとなんです。これは聞いた話ですけど、杜氏協会を紫波町に置きたいというから、結構、当時はいろいろ論争があったとは聞いたことがあります。

吉野委員長 だからそういう歴史性や、あるいは石鳥谷が持っていた一つの力ですね。今、花巻ですけども。

渡辺委員 杜氏としていっぱい建っていたんです、石鳥谷の入り口のその辺りに。で、やっぱり石鳥谷。

吉野委員長 そういった、ここだけというような物語性といえましょうかね。それもやっぱり、せっかく施設を改修するときの一つのコンセプトとして入れてはいかがかというようなご提案ですね。

菊池委員 あと、展示資料ですね。やはり石鳥谷、紫波町と花巻関係の酒屋の資料、そういったのを展示したほうがいいんじゃないかと思います。

吉野委員長 もっと花巻関係がないのかというお話ですけど、花巻の蔵も、石鳥谷にある蔵一つだけでしょうか。

菊池委員 花巻は白雲っていう所がありましたけれども、今、喜久盛に。北上ですね。蔵が震災で壊れてしまって。

吉野委員長 現在、花巻市内で実際醸造しているのは川村酒造さんだけということなんですね。分かりました。里ではあるんですけど、今はちょっと蔵が少ないという現状だと。

菊池委員 酒屋はありましたよ、花巻にもいっぱい。

吉野委員長 ありがとうございます。その他、何かご提案。

岩館委員　　ちょっと今、ソフト面の話に行ってると思うので。今、ツタヤですとか、イオンみたいなショッピングモールが、1日いて楽しいよというのがなんか、人が来てにぎわいができるような、そういう世の中の流れなんじゃないかなと思うんですけども。ここも、ぐるぐる回って1日とは言わなくても、お昼も食べれるしみたいな、ゆっくり過ごせるよってというような仕掛けにしたらいんじゃないかなというようなことを思いました。そして、私も石鳥谷町民なんですけども、先ほど資料館に行ったのは小学校の低学年以来だったと思うんですけども、久しぶりに入って、来てなかったなと思いましたが、伝承館とか資料館をちゃんと見学して。私も、子どもが5年生と1年生なので、夏休みの自由研究でここに来れば自由研究ばっちりみたいな、そういう仕掛けとかですかね。そうすると、いろんな家族連れが来たりとか。そういうさまざまな方向からの仕掛けをやっていくと、家族1日ここでちょっとゆっくり過ごせるなというような、そういう空間にすれば、そうなっていけばいいかなというふうに思いました。

吉野委員長　　ありがとうございました。みち研究所さん、図書館を持ってる道の駅っていうのはあるんですか。構成要素に図書館が入っているのって。

吉原主任研究員　　ほとんどないですね。

吉野委員長　　ここだけ。

吉原主任研究員　　後日確認します。

吉野委員長　　あるいは、民俗資料館プラス図書館。

吉原主任研究員　　資料館みたいなものはあったりするんですけど。

吉野委員長　　いわゆる公共図書館です。

吉原主任研究員　　図書館はちょっと少ないですね、やっぱり。ワンブースで、例えば道の駅を建設するときに出てきた国宝級の土器とか、そういうものを展示されてる道の駅さんとか、あとは、こちらですと宮沢賢治の資料館ですとか。そういった所の併設のものはありますが、図書館というのはちょっと少ないんじゃないかと思います。ちょっと確認します。

吉野委員長　　もしかしたら特徴になるかもしれないです。ありがとうございました。ちょっとお時間がなくなってきたんで、ご発言のなかった藤根さん、何かご感想等あれば。

藤根委員 ありがとうございます。さっきお話にも出ましたWi-Fiの件は、私もちょっと気になっていたのです。ここはやっぱり、私が最近来て。最近でもないんですが、イングレスとかポケモンGOだったりとか、息子が困ったりしてるので、ネット環境っていうのは結構大事かなと思います。特に、高校生とか大学生ぐらいも、この道の駅を活用するというほどではないかもしれないんですけど、車で来ても多分、いろいろ携帯を触っていたりする時間が結構長いと思うので、ネット環境に関しては、結構、力を入れてもいいかなと思いました。

あと、トイレのほうに関しては、授乳やおむつ替えのできるスペースの検討はされてたんですけど、りんどう亭のほうの大食堂でも、ファミリー向けのメニューとか、子どもを連れて来やすい環境というのをぜひ整備していただけると助かるなど。今、私、2歳の子どもがいるんですけども、やっぱり子連れでご飯を食べる所ってすごく限られてるので、結局、ファミリーレストランとか行かなきゃいけなくなることが多いので、道の駅さんでそういうことをやっていただけると、私たちみたいな子連れの、小さい乳幼児連れのお母さんたちも来やすくて。割とやっぱり、そういうお母さんたちが行ける所って限られてるので、すごく集中してにぎわってるイメージが強いので、そこを検討していただけるとありがたいです。

あと、メニューに関してなんですけど、ちょっと細かい話になりますけど、せっかくお酒をしている所ですので、メニューの中にもお酒を使った、酒かすを使ったものであるとかも入れてもいいんじゃないかなと思ったりしました。

あと、すごく保守的な話になるんですけども、日本酒のラインアップっていうのを、私はもうちょっと入れてほしいなと思うところがいっぱいあったんですが、川村酒造さんのお酒っていうのは、今、道の駅さんで取り扱いはあるんでしょうか。

菊池主査 あります。

藤根委員 『与右衛門』が入らないのはどうしてなのか、ちょっと教えていただきたいなと思ってたんですが。何かの機会で教えていただけると。ぜひ私は、ここで『与右衛門』を買えたら。そうですね。もっといろんな造り酒屋さんの日本酒を買えることになったら。いろいろな今、『南部美人』さんとか『AKABU』さんあたり、頑張ってる酒造メーカーさんがたくさんいらっしゃるの、南部杜氏っていうところにこだわると、やっぱりどうしても少なくなるかなと思うんですけど、私個人としては、日本酒をここで買いたい、ここでってなると、ちょっと欲が出てしまうかなというのが個人的な感想でした。

吉野委員長 ありがとうございます。お時間もなくなりましたが、あとは伊藤委員も一言、何かあればぜひお願いします。最後に国土交通省さんのほうから、全体通じて。

伊藤委員 皆さんのお話、盛り上がった中で口を挟む形になりますが、ちょっと聞きたかったんですけど。バスの停留所が、今、この前というふうにお話聞いたんですけども、逆に

そこでしか止められてないのか、入り口のほうにも止めてるのかどうなのか。例えば観光シーズンとか、周りに何台の台数があるのかどうなのかの実例を、ちょっとお聞かせ願いたいと思います。それで、この場所だとトイレが遠いんですね。トイレに近いと、今度は物販施設のほうが遠いということで。いずれにしても外の配置の問題、さっきも出ましたが、なかなか難しい問題があって、バスの利用者がとにかく困ってですね。利用者にはなかなか厳しい配置かなというのが、すみません、印象なんですけども、私の感想です。さっきの質問と同じです。

吉野委員長 事務局、バスの状況、分かりますか。

菊池主査 この道の駅石鳥谷の状況というか、石鳥谷全体ですけれども、デマンド型を結構取り入れてまして、今、予約バス、デマンドバスということで運営をしております。公共施設、道の駅石鳥谷自体もデマンドの乗降場として登録はしておりますけれども、利用実績が昨年度とか、その前も多分ゼロというふうになってございます。ホームページとかには載ってるんですけども、何年か前にデマンドの利用の分析傾向を見ますと、やっぱり多いのがスーパーに行くことと、病院に行くことだったんですね。なので、多分、向かい側の生涯学習会館とかで市民講座受れたりとか、高齢者学級受れたりとかっていうのはちょっとあると思うんですけども、道の駅自体の利用はそういう状況になってございます。

観光バスの関係でございまして、ちょっと感覚的な話になります。駅長の話によると、やはり個人旅行にちょっとずつシフトしてるのかなというようなことを、いつも感覚的には聞いてございます。ただ、トイレの利用という需要においては、結構使われているという認識でございまして。トイレに來れば休憩もしますし、酒匠館で物も買っていただけますし、非常にバスでの来場には、ありがたいというふうに思っております。

吉野委員長 ありがとうございます。それでは、国交省さんから全体を聞いてということで、ご意見あれば、ご提案あればお願いします。

佐々木委員 岩手河川国道事務所の佐々木と申します。私、花巻市さんのもう一つの道の駅のほうの検討委員会のほうにも参加させていただいておまして、いろいろ本当、大変お世話になってございます。今回、この道の駅石鳥谷に関しましても、岩手県で一番最初にできた道の駅になってございまして、今、岩手県には33カ所ございます。全国的にはもう1145道の駅が今、できておまして、国交省でも道の駅っていうのはヒット商品の一部になってるのかなというふうに思っております。

ただ、石鳥谷も25年たってるというところで、やっぱりリニューアルが大事なのかなというところで。石鳥谷だけじゃなくて、遠野の風の丘のほうも、やっぱりあちらのほうもいろいろリニューアルを今、考えてございまして、岩手県全体でこれからのイン

バウンドの対応とか、さまざまな面で、いろいろこれから活性化させていかなければ駄目かなというふうに思っています。

先ほどから委員の方々からのさまざまなご意見いただきまして、ソフト面のほうはいろいろお話がありましたけれども、ハード面に関しましては、これから花巻市さんと一緒に検討してまいりたいというふうに思っています。トラック協会さんからもご指摘、ご意見ございました国際コンテナ車に対応した駐車升の対応とか、こういったところも、これからの社会情勢でいきますと、大変重要なことかなというふうに思っていますので、検討してまいりたいというふうに思っています。

インバウンドの対応も大変重要でございますが、やっぱりそのインバウンドなんですけども、地域のかたがた、地域の方に愛される道の駅というのが一番重要なことかなというふうに思っていますので、そういった面からも、花巻市さんと一緒にこれからご協力して検討してまいりたいと思いますので、よろしく願いいたします。

吉野委員長 ありがとうございます。ちょっと時間超過しておりますので、一応、第1回目のご意見をいただく会は、この辺りでいったん止めまして、第2回目があると思いますので、事務連絡等も含めまして、事務局のほうから再度よろしく願いいたします。

藤原課長 長時間にわたりご協力ありがとうございました。その他ということで、次の日程について、先ほども言いましたけれども、あらためてご確認させてください。次回の会議につきましては、2月27日水曜日午後2時から石鳥谷総合支所の3階の会議室で予定しております。本日、案内の文書を机のほうに置かせていただきましたので、よろしく願いいたします。連絡事項については以上でございます。

これをもちまして、本日の第1回目の検討委員会の会議を閉じさせていただきます。大変お疲れさまでした。